

NEWSLETTER No.97 ISSN 1340-5578 **TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ** The Society for Research in Asiatic Music May 25, 2016

一般社団法人 **東洋音楽学会** **会報** 第**97**号

発行 一般社団法人東洋音楽学会  
 事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152  
 ●E-mail: LEN03210@nifty.com ●ホームページ: http://tog.a.la9.jp

### 目次

第67回大会のご案内	1	ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ	5
第67回大会の研究発表募集	2	芸術学関連学会連合(藝関連)に関するお知らせ	6
第33回田邊尚雄賞授賞者発表	2	東日本支部からのお知らせ	7
第34回田邊尚雄賞アンケートのお願い	3	正派邦楽会インターナショナル・サマースクールのご案内	7
第8回通常理事会議決事項のお知らせ	3	会員異動	7
メールアドレス変更通知のお願い	3	図書・資料等の受贈	9
選挙管理委員会からのお知らせ	3	新刊書籍	9
会員の受賞	4	新発売視聴覚資料	10
会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせ	4	編集後記	11
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ	4	第8回通常理事会添付書類	12
『東洋音楽研究』のインターネット公開について	5		

### 第67回大会のご案内

一般社団法人東洋音楽学会は、平成28年度の研究発表大会および公開講演会を以下の通り開催します。どうぞふってご参加ください。

- ◇日時 2016年11月5日(土)～6日(日)
- ◇会場 放送大学東京文京学習センター(公開講演会、研究発表)  
 〒112 0012 東京都文京区大塚3丁目29 1  
 東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩5分  
 お茶の水女子大学生協食堂(懇親会)  
 〒112 8610 東京都文京区大塚2丁目1 1
- ◇協賛 放送大学東京文京学習センター
- ◇日程
- [第1日] 11月5日(土) 多目的講義室1
- 13:00 開会挨拶
- 13:20 公開講演会(学会創立80周年関連)  
 遠藤 徹(東京学芸大学)  
 田中多佳子(京都教育大学)

- 14:20 公開シンポジウム  
 (学会創立80周年と柴田南雄生誕100周年)  
 徳丸吉彦(聖徳大学)  
 澤田篤子(洗足学園音楽大学)  
 永原恵三(お茶の水女子大学)
- 15:00 休憩
- 15:20 公開演奏会(柴田南雄生誕100周年)  
 柴田南雄作品  
 《熊野へ参らむと》no.78 箏歌 米川敏子  
 《遠野遠音》no.106 指揮 永原恵三  
 合唱:お茶大音楽科卒業生有志、コール淡水・東京
- 16:10 休憩
- 16:20 田邊尚雄賞授賞式
- 16:50 第5回定時社員総会
- 18:00 懇親会(お茶の水女子大学生協食堂マルシェ)
- [第2日] 11月6日(日) 多目的講義室1、他講義室
- 10:00～17:00(予定) 研究発表、セッション等

◇参加費等

- 参加費 正会員 事前支払 2,500 円、当日支払い 3,000 円  
正会員のうち大学院生（修士課程・博士課程・  
研究生在籍者）  
事前支払 1,000 円、当日支払い 1,500 円  
学生会員 事前支払 1,000 円、当日支払い 1,500 円  
非会員（第 2 日のみ）資料代 1,000 円
- 懇親会費 正会員 4,000 円、  
学生会員と正会員のうち大学院生 2,000 円
- 弁当代（第 2 日）1,080 円（お茶付き）（予定）

◇大会実行委員会

- 五十嵐美香、井上登喜子（副委員長）、遠藤徹（本部総務）、  
黒川真理恵、高松晃子（本部経理）、永原恵三（委員長）、  
福田千絵、山下暁子

## 第 67 回大会の研究発表募集

第 67 回大会における研究発表を下記の要領で募集します。  
なお、今大会には統一テーマを設けておりません。会員の多  
彩な内容の発表を期待します。

◇発表形態

- (A) 個人発表 発表 20 分+質疑応答 10 分  
(B) 共同での発表・企画 90~120 分（質疑応答を含む。  
セッション、パネルディスカッション、シンポジウム等）

◇申込方法

以下の諸項目を明記した書面を、大会実行委員会まで、郵  
送および電子メールにてお申込みください。郵送の際には封  
筒の表に「東洋音楽学会大会発表申込」と朱書きしてくださ  
い。電子メールは、件名を「東洋音楽学会大会発表申込」と  
し、ファイルを添付する場合はワード形式またはテキスト形  
式でお願いいたします。

- (1) 題目（B の場合は発表形態を付記してください）
- (2) 要旨（A は 800 字程度、B は 1000 字程度）
- (3) 氏名（B の場合は、代表者氏名と構成員氏名）
- (4) 連絡先（住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス）
- (5) 使用希望機材
- (6) その他必要な事項  
（B の場合、希望する時間帯、午前・午後など）

送付先：

〒112 8610 東京都文京区大塚 2 1 1  
お茶の水女子大学文教育学部音楽科気付  
東洋音楽学会第 67 回大会実行委員会  
FAX : 03-5978-5279  
電子メール送付先 : tog67tokyo@gmail.com  
申込締切 : 2016 年 6 月 30 日（木）必着（厳守）

【注意事項】

発表申込を受領した時点で、その旨を電子メール/電話/  
FAX などで通知いたします。発表申込後 3 日を過ぎても受領  
通知がない場合は、至急、上記の大会実行委員会までご連絡  
ください。

◇採否

申込締切後、大会実行委員会にて審査を行なった上で決定し、  
結果を全員に通知いたします。

## 第 33 回田邊尚雄賞授賞者発表

第 33 回田邊尚雄賞は、以下のように決定いたしました。

[授賞者・授賞対象]

Alison McQueen Tokita（時田アリソン）

*Japanese Singers of Tales*

*Ten Centuries of Performed Narrative*

2015 年 3 月 28 日発行、イギリス : Ashgate、

ISBN9780754653790

[選考経過]

2016 年 3 月 20 日（日）に開催された第 33 回田邊尚雄賞選  
考委員会において、候補にあがった全 5 件の選考対象のそれ  
ぞれについて、内容を中心に、さまざまな角度から慎重に審  
議を重ねた結果、全員一致で上記 1 件が授賞にふさわしいと  
の結論に達した。

選考委員 : 加納マリ（委員長）、井上貴子、吉川周平、  
中原ゆかり、三浦裕子

[授賞理由]

本書は、語り物音楽を対象に通時的、かつさまざまな種目  
を横断した総合的な見地から、長年の研究をまとめたもので  
ある。日本音楽の研究方法の一つの方向性を示した好著でも  
ある。最近の音楽学研究では、その対象が西洋音楽であれ、

日本音楽であれ、非常に細分化された研究が進み、より専門性が高められている状況にあると言える。そのようななかで、本書は声明、平家、能、人形浄瑠璃、歌舞伎浄瑠璃（豊後系浄瑠璃、大薩摩節）など、語り物音楽を広い視野におさめ、それぞれの音楽がもつ特徴から語り物音楽の全体像を捉えようとするものである。各種目のもつ独自性を指摘するとともに、それらの共通の枠組みを構築分析することで、それぞれの共通性や連続性を見出したことに注目したい。また、本書に付された CD は本文中の譜例の実演であり、多種目の音源が収められていること、さらに日本語の歌詞（詞章）の英訳も含め、語り物音楽の研究のみならず、日本音楽全般の研究に新たな指針を示した点も評価された。

## 第 34 回田邊尚雄賞アンケートのお願い

第 34 回田邊尚雄賞選考委員会では、新刊情報を広く収集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、著作物を出版される際は、選考委員会までお早めにお知らせください。自薦のほか他薦も歓迎いたします。

**選考対象：**2016（平成 28）年 1 月 1 日～12 月 31 日の発行物

**受付期間：**随時。締切は 2017（平成 29）年 2 月上旬（予定）。

**記入事項：**著者名、書名、発行年月日、発行所名。なお、論文の場合は、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数も記してください。推薦理由を簡潔にお書き添えいただいても構いません。

**送付先：**東洋音楽学会 第 34 回田邊尚雄賞選考委員会

（郵送）〒110-0005 東京都台東区上野 3-6-3

三春ビル 307 号

（FAX）03-3832-5152

（電子メール）LEN03210@nifty.com

選考委員：（再任）井上貴子、吉川周平、中原ゆかり、

（新任）奥山けい子、吉野雪子

## 第 8 回通常理事会議決事項のお知らせ

2016 年 4 月 3 日（日）に東京藝術大学音楽学部大会議室において第 8 回通常理事会が開催されました。主な議決事項をお知らせいたします。

### 1) 新入会員について

前回理事会（2015 年 10 月 4 日）以降に申し込みのあった正会員 6 名、学生会員 2 名の入会が正式に承認されました。

2) 平成 28 年度研究発表大会および公開講演会について  
本号の関連記事をご覧ください。

3) 平成 28 年度事業計画の件

【添付書類 1】の通り承認されました。

4) 平成 28 年度収支予算の件

【添付書類 2】の通り承認されました。

5) 第 33 回田邊尚雄賞受賞者について

本号の関連記事をご覧ください。

6) 第 34 回田邊尚雄賞選考委員について

井上貴子・吉川周平・中原ゆかり（以上留任）、奥山けい子・吉野雪子（以上新任）の 5 氏に委嘱することが承認されました。

7) 参事委嘱・解嘱等について

金奎道氏の東日本支部参事を解嘱することが承認されました（帰国のため）。

## メールアドレス変更通知のお願い

名簿に掲載の電子メールアドレスが不達で学会からの連絡が戻ってきてしまうことが増えています。電子メールアドレスを変更した際には、必ず事務局までご一報ください。また、最新版の名簿に掲載されている電子メールアドレスが現在ご使用のものになっているか、今一度ご確認ください。名簿には掲載しないで学会からの連絡用としてのみ届け出る場合には、その旨を届け出時にお書き添えください。

## 選挙管理委員会からのお知らせ

本年は理事および監事の改選の年にあたります。以下の 2 点についてお知らせします。

### ◇被選挙権の休止の希望について

定款施行細則第 13 条第 4 項に「定款に定めるところの役員を通算して 8 期以上務めた正会員は、選挙の度ごとに本人の希望によりその 1 期に限ってその被選挙権を休止することができる」とあります。また、同第 5 項に「選挙実施年の 9 月 1 日において、満 70 歳以上の者は、選挙の度ごとに本人の希望によりその 1 期に限ってその被選挙権を休止することができる」とあります。この条件に該当し、かつ休止を希望する正会員は、6 月 20 日（月）までに東洋音楽学会選挙管理委員会事務局宛に、文書（ファックス、電子メールを含む）にてお申し出ください。

[東洋音楽学会選挙管理事務局]

〒110-0005 東京都台東区上野 3-6-3 三春ビル 307 号

東洋音楽学会事務局気付

FAX : 03-3832-5152

E-mail : 2016toyosenkan@freeml.com

#### ◇選挙名簿の作成について

選挙管理委員会では、選挙用会員名簿を作成します。名簿には「正会員の姓名」を記載することになっています。つきましては、東洋音楽研究第 80 号別冊として配布された名簿の記載事項に変更のある方で、まだ届けておられない方は、その変更内容を 6 月 20 日（月）までに学会事務局宛に、かならず文書（ファックス、電子メールを含む）にてご連絡くださるようお願いいたします。ご連絡のない場合には、現在事務局にある名簿にしたがって記載することになります。

[2016 年度選挙管理委員]

鎌田紗弓、神野知恵、鳥谷部輝彦、茂手木潔子（委員長）、早稲田みな子（副委員長）

## 会員の受賞

#### ◇千葉優子さんがミュージック・ペンクラブ音楽賞を受賞

会員の千葉優子さんが、著書『箏を友として 評伝宮城道雄〈人・音楽・時代〉』で、第 28 回ミュージック・ペンクラブ音楽賞クラシック部門研究・評論部門賞を受賞されました。

#### ◇川崎瑞穂さんが日本風俗史学会研究奨励賞および笹川研究奨励賞を受賞

会員の川崎瑞穂さんが、論文「秩父市旧荒川村におけるヤマタケル伝承と狼信仰」（風俗史学第 53 号、2013 年）により、日本風俗史学会から平成 27 年度日本風俗史学会研究奨励賞を、また「日本の民俗芸能『鷺舞』の構造人類学的研究 音楽分析を基軸として」（平成 27 年度笹川科学研究助成）の研究成果により、公益財団法人・日本科学協会より平成 27 年度笹川科学研究奨励賞をそれぞれ受賞されました。

日本風俗史学会研究奨励賞授賞式は 2015 年 11 月 21 日に千代田区立図書館文化館において行われ、笹川研究奨励賞授賞式は 2016 年 4 月 22 日、ANA インターコンチネンタルホテル東京において行われました。

## 会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせ

### 1. 会費納入のお願い

2015 年 9 月から新しい年度が始まりました。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払込くださいますよう、お願い申し上げます。振り込み用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込ください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

正会員：8,000 円

学生会員（大学院生を除く）、および割引申請者：6,000 円

#### ○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行 [口座番号] 00160-6-55723

[加入者名] 一般社団法人東洋音楽学会

#### ○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行 [支店名] 〇一九（ゼロイチキュー）店 (019)

[当座] 0055723

### 2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページ (<http://tog.a.la9.jp/about.html#7>) で確認の上、お申し込みください。

### 3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利（研究会・大会での発表、学会の発行物の受取）が行使できないことがありますのでご注意ください。

### 4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

## 『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第 82 号（2017 年 8 月刊行予定）の原稿を募集いたします。

投稿を希望される方は、学会機関誌最新号に掲載予定の「投稿規定」および学会ホームページ掲載の「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください。「投稿規定」は、機関誌編集委員会において改訂を行うことがあります。必ず最新号で



ご確認ください(学会ホームページで閲覧する場合、最新のものを取得するために、ページの再読み込みを必ず行ってください)。分量の限度が守られていない投稿が多く見受けられません。ご注意ください。

送付先: 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3三春ビル307号  
東洋音楽学会事務局内 機関誌編集委員会

Tel: 03-3832-5152 (Fax 兼)

なお、封筒の表に「機関誌投稿原稿在中」と明記してください。

送付方法: プリントアウトした原稿を郵送すること。ただし、書留郵便にはしないこと。直接持参、メール添付は受け付けません。

締め切り: 2016年12月9日(金) 必着

## 『東洋音楽研究』のインターネット公開について

1) 機関誌『東洋音楽研究』は、創刊号から73号までの論文、研究ノート、書評、視聴覚資料評等がすでにインターネット上で公開されています(J-STAGE)。74号以下についても、発行後3年を経過したものは順次公開していく予定です。このため、論文等著作の中に写真、図像、楽譜等を使用する場合、掲載許可は、ネットでの公開を念頭においた上で、著者の責任において取得していただくよう、お願いいたします。

2) 2015年度は74号および75号のインターネット公開を目指しています。74号および75号掲載の論文、研究ノート、書評、視聴覚資料評の著者で、写真等の許諾が得られずインターネット公開を差し控える必要がある場合は、8月末日までに、下記宛、メールと文書にてお申し出ください。お申し出なき場合、論文等はそのままインターネット上に公開されます。

送付先: 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6  
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター 藤田研究室気付  
(一社) 東洋音楽学会機関誌編集委員会  
E-mail: tfujita@kcuu.ac.jp

## ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ

### 1. ICTM 東アジア音楽研究会シンポジウム開催のお知らせ

ICTM 東アジア音楽研究会 (ICTM Study Group on Musics of East Asia 通称 MEA) の第5回シンポジウムがこの夏、台湾で開催されます。

日時: 2016年8月25日(木) ~ 27日(土)

場所: 中央研究院 (Academia Sinica)、及び国立台北芸術大学 (Taipei National University of the Arts)、台湾

当研究会発足10周年を記念するシンポジウムとなります。発表申込みはすでに締め切られていますが、オーディエンスとして参加ご希望の方は、ICTM ホームページにて詳細をご確認ください。

(<http://www.ictmusic.org/group/musics-east-asia>)

今回は「東アジア民族音楽学?」(East Asian Ethnomusicologies?) という大テーマのもと、以下の5つのテーマが掲げられています。

1. Music and embodiment
2. Cosmopolitanism, transnational flows, creative labour markets
3. Eco-criticism and music
4. Music history, historical musics, historical reconstructions
5. New research

### 2. 第44回 ICTM 世界大会 (於: アイルランド) のお知らせ

日時: 2017年7月13日~19日

場所: Irish World Academy of Music and Dance, Limerick  
(アイルランド、リムリック)

2017年はICTMの創立70周年に当たります。1947年にInternational Folk Music Council (IFMC)として組織された当学会は、のちにInternational Council for Traditional Music (ICTM)と改称し、今日まで学術団体として、またユネスコの諮問機関として活動を展開してきました。70周年を記念する次会の世界大会では以下が学会テーマとして掲げられています。

1. 70 Years of ICTM: Past, Present and Future
2. Legacy and Imagination in Music and Dance
3. Ethnomusicology, Ethnochoreology and Digital Humanities
4. Exploring Music Analysis and Movement Analysis in Ethnomusicology and Ethnochoreology

5. Music, Dance, Religious Politics and Religious Policies

6. New Research on Other Topics

発表形式は、1) 個人発表、2) パネル、3) フィルム／ビデオ・セッション、4) フォーラム／ラウンドテーブルの四種類です。

発表申込み締切：2016 年 9 月 30 日

発表可否の通知：2016 年 12 月

発表申し込みは ICTM のホームページよりオンラインで行います。詳しくは、ホームページ内の世界大会のお知らせのページをご覧ください。(http://www.ictmusic.org/ictm2017)

3. 第 43 回世界大会の報告

ICTM の第 43 回世界大会が、2015 年 7 月 16～22 日、カザフスタン共和国の首都アスタナにて開催された。主催機関はカザフ国立芸術大学 (KazNUA) で、同大学のモダンなドーム型建物が会場となった。本学会の世界大会が中央アジア、旧ソ連圏、イスラム教が主要な宗教である国家で開催されたのは初めてであり、これまでこの学会に関わりの少なかった研究者が多数参加する記念すべき大会となった。世界各地から 600 名近い参加者があり、日本からの参加者も 20 名を超えた。

プログラム委員会は、ティモシー・ライス (UCLA) とラズビア・スルタノヴァ (ケンブリッジ大学) が共同で委員長を務め、以下の 6 つの研究テーマが大会のために選ばれた。

1. Music and new political geographies in the Turkic speaking world and beyond
2. The creators of music and dance
3. Music, dance, the body and society
4. Sound environments: From natural and urban spaces to personal listening
5. Visual representation of music culture
6. New research

プログラム委員会により 450 件以上の研究発表が選定され、最大 13 のセッションが同時進行した。映像番組のセッションも並行して行われ、計 20 本が上映された。これらの個別セッションのほか、全員が参加する全体セッションの時間帯が設けられ、1 日に一つずつ大会テーマを冠したセッションが組まれた。また、主催者によって公演 (6 回) とワークショップ (8 回) が企画され、参加者は中央アジア音楽・舞

踊の多様性を体験することができた。

大会の運営に関しては、受付業務やエキスカージョンの実施に多少の混乱は見られたものの、実働部隊として動員されたアスタナ市内の学生約 70 名の奮闘もあり、概ね問題なく進行した。

大会に合わせて開かれた理事会では、新たに 2 つの研究グループ (映像音響民族音楽学とスラヴ世界の音楽) の発足が認められ、傘下の研究グループの数は 20 となった。また、研究グループ間の交流を促進するために、グループ長会議が初めて開かれたことも特筆に値する。閉会式では、次回大会の開催地 (アイルランド・リムリック) がアナウンスされ、実行委員長であるキャサリン・フォーレイが主催校であるリムリック大学アイルランド音楽舞踊学院の紹介を行った。

(大会報告：寺田吉孝)

芸術学関連学会連合 (藝関連) に関するお知らせ

芸術学関連学会連合 (略称：藝関連) では下記の通り、第 11 回公開シンポジウムを開催いたします。藝関連は芸術に関わる 15 の学会の連合組織で、相互の情報交換、公開シンポジウムの開催などの活動を行っています。今回の公開シンポジウムには、日本音楽学会から (東洋音楽学会の共同推薦)、井上さつき氏がパネリストとして参加します。皆様のご参加をお待ちしています。参加は無料です。同連合のウェブサイト <http://geiren.org/> もご参照ください。

「ニュースを創り出すアートの力」

日時：2016 年 6 月 11 日 (土) 13 時 30 分～18 時

会場：早稲田大学戸山キャンパス 382 教室 (36 号館 3 階)

〒169-8050 東京都新宿区戸山 1 24 1

交通：地下鉄東京メトロ東西線・早稲田駅より徒歩 3 分、副都心線・西早稲田駅より徒歩 12 分、JR・高田馬場駅より学バスで早大正門・馬場下町下車すぐ

パネリスト：

藤澤紫 (国際浮世絵学会・國學院大学)

「ニュースになった江戸文化 浮世絵が創る「時代の顔」」  
川延安直 (東北芸術文化学会・福島県立博物館)

「語りの変遷 作られる白虎隊イメージ」

長田謙一 (美術科教育学会・名古屋芸術大学)

「藤田嗣治《アツ島玉砕》(1943) と「玉砕」の誕生」

小松弘 (日本映像学会・早稲田大学)

「見えるものは真か偽か」

井上さつき (日本音楽学会・愛知県立芸術大学)

「政吉ヴァイオリンがニュースになるとき」

金子智太郎(美学会・東京工芸大学)

「音による出来事の表現の展開 録音コンテストの記録から」

大森正夫(意匠学会・京都嵯峨芸術大学)

「萌芽的文化とアート概念の拡張 神戸ビエンナーレ、

10年の試み」

## 東日本支部からのお知らせ

### ◇定例研究会発表募集(12月)について

東日本支部では、会員の皆様による活発な研究活動のため、定例研究会での研究発表を募集しております。すでに7月例会まで内容は確定しており、また会場と担当要員確保が難しいため、原則として12月定例研究会のみ、お申し込みをお受けする方針です。発表をご希望の方は、発表種別(研究発表・報告等)、発表題目、要旨(800字以内)、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail)を明記の上、今回は7月1日必着で、東日本支部事務局までお申し込み下さい(tog-higashi@freeml.com あてメール添付か郵送)。メールご利用の方で、発表希望の提出後1週間を経ても東日本支部事務局から連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが、再度ご連絡ください。

万一ご希望多数の場合、9月特別例会を仮定的に追加開催する可能性も検討しておりますので、通例より申込締切りを大幅に繰り上げました。その旨予めご了承下さい。

### ◇「会員の声」投稿募集

東日本支部発行『東日本支部だより』には、会員の皆様からの情報を掲載する「会員の声」欄を設けています。研究会、講演会、展示会など、会員の活動に関連する情報がありましたら、東日本支部事務局あて、お知らせください。投稿方法などの詳細は、『東日本支部だより』の最終ページをご覧ください。

[東日本支部事務局]

〒110-0005 東京都台東区上野 3-6-3 三春ビル 307号

東洋音楽学会東日本支部事務局

E-mail : tog.higashi@gmail.com

## 正派邦楽会

### インターナショナル・サマースクール2016

#### 「英語で和楽器を学ぶ」のご案内

このたび正派邦楽会では、和楽器演奏を学ぶためのインターナショナル・サマースクールを新たに開講することとなりました。このサマースクールは、尺八、箏、地唄三弦を英語で教習する日本で数少ない教育プログラムです。正派邦楽会は生田流箏曲の流派のひとつで、箏曲家で組織する会としては最も大きな団体です。講師陣は、正派邦楽会二代目家元、中島靖子(箏)、中島一子(地歌三弦・唄)、奥田雅楽之一(箏)、およびクリストファー・遙盟・ブレイズデル(尺八)です。

2016年のサマースクールは、8月8日(月)から8月14日(日)の一週間、新宿の正派邦楽会館(市ヶ谷駅より徒歩5分)にて開催されます。プログラムは、各楽器のグループレッスンと個人レッスン、三曲合奏クラス、正派音楽講演のタペシリーズから構成されています。サマースクールの参加方法には二種類あり、フルタイムの生徒として参加する場合は(授業料10万円)には、教授陣と最大限の時間授けし、レッスンを受けることができます。個別にクラスに参加する場合は、1クラス(グループレッスン90分、個人レッスン30分)につき5,000円の授業料となります。

本サマースクールの登録期間は、2016年4月4日から7月15日です。締め切り後の登録申し込みは、10%の割増料金により受け付けます。18歳以上で英語でのコミュニケーションが可能であれば、どなたでも登録申し込みができます(講師陣、運営スタッフは日本語での対応可能です)。英語で和楽器を学ぶことに興味がある日本人の方々も大いに歓迎いたします。登録は正派邦楽会公式ホームページ(下記参照)または、サマースクール専用ウェブページ(英語、下記参照)にてオンラインで受け付けます。

正派邦楽会公式ホームページ <http://www.seihahogaku-kai.or.jp>

サマースクール専用ウェブページ <http://www.seiha-hogaku.jp>

## 会員異動

会員異動は個人情報保護のため削除しました。



『岸边成雄博士記念第1回東洋音楽史研究国際シンポジウム  
唐代音楽の研究と再現 資料集』  
上野学園大学日本音楽史研究所  
『伝統と創造：東京音楽大学附属民族音楽研究所研究紀要』  
Vol. 5 東京音楽大学附属民族音楽研究所  
『音楽学』第61巻2号 日本音楽学会  
『「隋書」音楽志訳注』 六朝楽府の会 和泉書院  
『仏教の声の技 悟りの身体性』 大内典 法蔵館  
『美学論究』第三十一編 関西学院大学文学部美学研究室  
『インド鍵盤楽器考 ハルモニウムと電子キーボードの  
普及にみる楽器のグローカル化とローカル文化の再編』  
岡田恵美 溪水社  
『神霊を生きること、その世界 インド・ケララ社会  
における「不可触民」の芸能民族誌』 竹村嘉晃 風響社

◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。  
(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、または  
ファクス、E-mail等でも結構です)

◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えく  
ださい。(複数表記される場合、どちらを主な表記にするの  
か等)

◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等があ  
る場合には、その旨ご明記ください。

## 図書・資料等の受贈

(2015年12月～2016年4月、到着順)

### *Japanese Singers of Tales: Ten Centuries of Performed Narrative*

CD付 Alison McQueen Tokita. Ashgate  
『楽道』12, 1, 2, 3月号 (公財) 正派邦楽会  
『一音成佛』第45号 虚無僧研究会  
『東方學會報』No.109 (一財) 東方学会  
『雅楽だより』第44, 45号 雅楽協議会

### *An Audiovisual Exploration of Philippine Music: The Historical*

*Contribution of Robert Garfias* (国立民族学博物館調査報告133)  
寺田吉孝編 国立民族学博物館  
『夷酋列像 蝦夷地イメージをめぐる人・物・世界』図録  
北海道博物館、国立民族学博物館、国立歴史民俗博物館  
『マス・メディア時代のポピュラー音楽を読み解く  
流行現象からの脱却』 東谷護 勁草書房  
『音楽からインド社会を知る 弟子と調査者のほさま』  
寺田吉孝 臨川書店

## 新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

『江戸時代の通訳官 阿蘭陀通詞の語学と実務』  
片桐一男、吉川弘文館、3,500円  
『音韻史(シリーズ 日本語史1)』  
高山倫明; 他、岩波書店、4,400円  
『音楽テイストの大転換 ハイドンからブラームスまでの  
演奏会プログラム』 ウィリアム・ウェーバー、松田健訳、  
法政大学出版局、6,800円  
『改訂版 音楽の文章セミナー ——プログラム・ノートから  
論文まで』 久保田慶一、音楽之友社、2,200円  
『近世日本の「礼楽」と「修辞」 荻生徂徠以後の「接人」の  
制度構想』 高山大毅、東京大学出版会、6,400円  
『近代歌舞伎年表 名古屋篇第10巻 大正6年～大正7年』  
国立劇場近代歌舞伎年表編纂室、  
八木書店古書出版部、19,000円  
『倉敷市蔵 薄田泣菫宛書簡集 文化人篇』  
倉敷市編、八木書店古書出版部、9,800円  
『クラシック名曲のワケ——音楽授業に生かすアナリーゼ』  
野本由紀夫、音楽之友社、2,300円  
『クロイツァーの肖像 日本の音楽界を育てたピアニスト』  
萩谷由喜子、ヤマハミュージックメディア、2,200円  
『孝の風景 説話表象文化論序説』  
宇野瑞木、勉誠出版、15,000円  
『この一瞬に価値がある——バルトロメイ家とウィーン・  
フィルの120年』  
フランツ・バルトロメイ、坂本謙太郎監訳、坂本明美訳、  
音楽之友社、2,200円

『サウンド・マン 大物プロデューサーが明かしたロック名盤の誕生秘話』 グリン・ジョンズ、新井崇嗣訳、シンコーミュージック・エンタテイメント、2,500円

『シベリウスの交響詩とその時代——神話と音楽をめぐる作曲家の冒険』 神部智、音楽之友社、3,600円

『ジャワの芸能ワヤン その物語世界』 福岡まどか、スタイルノート、3,000円

『宣講による民衆教化に関する研究』 阿部泰記、汲古書院、18,000円

『世阿弥 身心変容技法の思想』 鎌田東二、青土社、2,600円

『世阿弥の能芸論 (岩波オンデマンドブックス)』 西尾実、岩波書店、7,800円

『高田三郎 祈りの音楽——典礼聖歌と二大合唱作品の研究』 佐野智子編著、音楽之友社、3,500円

『中国鎮魂演劇研究』 田仲一成、東京大学出版会、30,000円

『ディルタイ全集 第5巻詩学・美学論集(2巻セット)』 ヴィルヘルム・ディルタイ、和泉雅人・前田富士男・伊藤直樹編集・校閲、法政大学出版局、36,000円

『東京レコ屋ヒストリー』 若杉実、シンコーミュージック・エンタテイメント、1,800円

『東横歌舞伎の時代』 上村以和於、雄山閣、3,000円

『トリオ』 ウラジーミル・タラーソフ、鈴木正美訳、法政大学出版局、3,600円

『日本映画の大衆的想像力 《幕末》と《股旅》の相関史』 羽鳥隆英、雄山閣、3,600円

『能面を科学する 世界の仮面と演劇』 神戸女子大学古典芸能研究センター編、勉誠出版、4,200円

『『バイエル』原典探訪——知られざる自筆譜・初版譜の謎』 安田寛監修、小野亮祐・多田純一・長尾智絵、音楽之友社、3,000円

『(改訂版)パリのヴィルトゥオーゾたち ショパンとリストの時代』 ヴィルヘルム・フォン・レンツ、中野真帆子訳、ハンナ、1,900円

『東アジアの礼・儀式と支配構造』 古瀬奈津子、吉川弘文館、10,000円

『フーガ書法——パリ音楽院の方式による』 山口博史、音楽之友社、3,600円

『〈フランツ・シューベルト〉の誕生 喪失と再生のオデュッセイ』 堀朋平、法政大学出版局、5,500円

『フルトヴェングラーとの語らい 音楽に真向かうということ』 仙北谷晃一、野口剛夫編、アルファベータブックス、2,500円

『新版 学ぼう指揮法 Step by Step わらべ歌からシンフォニーまで』 山本訓久、アルテスナブリッシング、2,200円

『マーラーを語る——名指揮者29人へのインタビュー』 ヴォルフガング・シャウフラー編、天崎浩二訳、音楽之友社、3,100円

『南日本の民俗芸能誌 全県編 (南日本の民俗文化誌6)』 下野敏見、南方新社、3,500円

『民族音楽学12の視点』 徳丸吉彦監修、増野亜子編、音楽之友社、2,500円

『モーツァルト 最後の四年 栄光への門出』 クリストフ・ヴォルフ、磯山雅訳、春秋社、2,500円

『乱舞の中世 白拍子・乱拍子・猿楽』 沖本幸子、吉川弘文館、1,700円

『ルネサンスの音楽世界 テキスト、音、図像による新たな体験』 ベルンハルト・モールバッハ、井本响二訳、法政大学出版局、8,800円

『歴史と日本民俗学 課題と方法』 福田アジオ、吉川弘文館、8,000円

『ロマン派の音楽——歴史的背景と演奏習慣』 アントニー・バートン編、角倉一朗訳、音楽之友社、3,000円

『ワーグナー さまよえるオランダ人 (オペラ対訳ライブラリー)』 高辻知義訳、音楽之友社、1,500円

## 新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

### ●CD

『安藤政輝 宮城道雄を弾く5 春を奏でる』 VZCG-801、3,000円

『蓬萊／栄芝の端唄』 栄芝他、VZCG-802、2,800円

『琴古流尺八本曲全集 二世荒木竹翁(10枚組)』 二世荒木竹翁(五世荒木古童)、VZCG-8560~8569、20,000円

『音頭 につぼめめでた／お座敷小唄』 鈴木正他／松尾和子他、VZCG-10561、1,200円

『春 さのさ／十六夜みやこどり』 相原ひろ子、VZCG-10562、1,200円

### ●DVD

『平成28年度 コロムビア 総おどり曲集』コロムビア舞踊研究会、COBA-6876、5,556円

『日本の音 Beautiful Sound of Japanese Traditional Music』 COCJ-39412、2,000円

『平成28年度(第52回)日本コロムビア吟詠音楽会選定 小手毬』 尺八：磯牧山、箏：高橋まるな、COCJ-39437、2,667円

『JAPAN, the Beautiful 美しき和楽器の調べ』

米川敏子、藤原道山、絹の会他、COCP-39385、2,200円

●カセット

『音頭 につぼんめでた／お座敷小唄』

鈴木正他／松尾和子他、VZSG-10642、1,200円

『春 さのさ／十六夜みやこどり』

相原ひろ子、VZSG-10643、1,200円

## 編集後記

5月号をお届けいたします。2年目に入り、現編集委員の連携プレーも磨きがかかってきました。主にメールを通しての作業ではありますが、委員同士でボールをパスして、レスポンスして、お互いにフォローしあいながら、共同作業によってそれぞれの仕事を一つにつなげていく感触があります。同じように直接会う機会は限られていても、会報をはじめとする小さなやりとりで、会員相互の間をつないでいくお手伝いが出来たらうれしいと思います。

増野亜子

会報編集委員会

理事：永原恵三、増野亜子

委員：井上登喜子

参事：大久保真利子、角優希、松本民菜、安原道子、  
横山洸、渡邊佐恵子

## 第8回通常理事会添付書類

### 【添付書類1】

平成28年度(2016年度)事業計画  
(自平成28年(2016年)9月1日  
至平成29年(2017年)8月31日)

#### [1] 研究発表会および学術講演会の開催(定款第5条1)

##### (1) 公開講演会の実施(定款施行細則第3条1)

- ・日時 2016年11月5日
- ・会場 放送大学東京文京学習センター
- ・課題「学会創立80周年および柴田南雄生誕100周年」

##### (2) 研究発表大会の実施(定款施行細則第3条2)

- ・日時 2016年11月6日
- ・会場 放送大学東京文京学習センター

##### (3) 次年度大会の準備

- ・日時 2017年10月または11月

##### (4) 定例研究会(定款施行細則第3条3)

- 東日本支部
- ・回数 6回(第93回~第98回 12・2・3・4・6・7月)
- ・会場 東京藝術大学ほか
- ・内容 研究発表、卒業論文・修士論文・博士論文発表ほか

- 西日本支部
- ・回数 4回(第274回~第277回 12・2・5・7月)
- ・会場 国立民族学博物館ほか
- ・内容 研究発表、記念講演、修士論文・博士論文発表ほか

- 沖縄支部
- ・回数 3回(第68回~第70回 12・3・7月)
- ・会場 沖縄県立芸術大学

##### (2) 学会誌および学術図書の刊行(定款第5条2)

- (5) 機関誌『東洋音楽研究』の刊行(定款施行細則第3条4)

- 第82号の編集、刊行
- ・内容 会員の論文、研究ノート、資料紹介、書評ほか
- (6) 会報の刊行

- 『東洋音楽学会会報』
- ・第98号(2016年9月)、第99号(2017年1月)、第100号(2017年5月)
- ・内容 会員への諸通知、理事会・総会記録、大会開催案内、大会レポート、図書・視聴覚資料紹介、会員消息

- 『東日本支部だより』
- ・第42号(2016年11月)、第43号(2017年3月)、第44号(2017年6月)

- ・内容 東日本支部定例研究会の開催案内・報告、会員の声ほか
- 『西日本支部だより』

- ・第85号(2016年9月)、第86号(2017年1月)、第87号(2017年4月)

- ・内容 西日本支部定例研究会の開催案内・報告、支部会員への諸通知ほか

- 『沖縄支部通信』
- ・第39号(2017年1月)、第40号(2017年7月)

- ・内容 沖縄支部定例研究会の開催案内・報告
- [3] 関連学協会との連絡および協力(定款第5条3)

- (7) 日本学術会議への協力
- 日本学術会議協力学術研究団体として協力
- (8) 音楽文献目録委員会への参加

- 会員三名を委員として派遣
- (9) 国際伝統音楽学会(ICTM)への協力

- 日本国内委員会として加盟
- (10) 芸術学関連学会連合への参加

- 会員一名を委員として派遣
- (11) 東洋学・アジア研究連絡協議会への参加

- オブザーバーとして参加
- [4] 研究の奨励および研究業績の表彰(定款第5条4)

- (12) 「田邊尚雄賞」(定款施行細則第3条5)
- 第33回田邊尚雄賞の授賞

- ・日時 2016年11月5日
- ・受賞者および授賞対象  
Alison McQueen Tokita (時田アリソン)

*Japanese Singers of Tales*

*Ten Centuries of Performed Narrative*

2015年3月28日発行、イギリス: Ashgate,  
ISBN978-0-7546-5379-0

- 第34回田邊尚雄賞の選考と発表  
(2017年4月予定)

- [5] 研究および調査(定款第5条5)
- (13) 国内または国外における学術調査および研究  
とくになし

- [6] その他目的を達成するために必要な事項(定款第5条6)
- (14) 東洋音楽学会ホームページを通して行なう学会情報の提供
- (15) 独立行政法人科学技術振興機構(JST)電子アーカイブ  
事業への参加
- (16) 学会創立80周年記念関連事業

【添付書類2】

通常理事会添付資料の一部は、個人情報保護等のため削除しました。



オルフェ・ライブラリー **声の世界を旅する**



増野亜子 著

地球上のいろいろな声に耳を澄まそう！民族音楽学者が、ホームーから初音ミクまで、世界の様々な声／歌の文化を分析・考察する。写真・譜例・イラスト多数掲載。

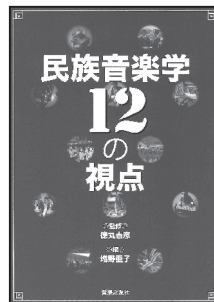
四六判・232頁  
定価(本体2500円+税)  
ISBN978-4-276-37109-5

**民族音楽学12の視点**

徳丸吉彦 監修 増野亜子 編

民族音楽学を、従来の地域別・ジャンル別ではなく横断的に捉えることで、新たな視点を提示する入門書。7つのコラムも読み応え充分。

A5判・192頁  
定価(本体2500円+税)  
ISBN978-4-276-13510-9

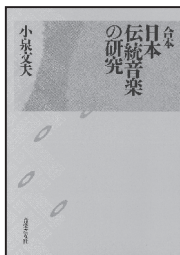


合本

**日本伝統音楽の研究**

小泉文夫 著

B5判・548頁  
定価(本体10000円+税)  
ISBN978-4-276-13312-9



**日本音楽基本用語辞典**

音楽之友社 編

A5判・192頁  
定価(本体1800円+税)  
ISBN978-4-276-00182-4

※重版により、定価が変わる場合がございます。予め、ご了承ください。

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30 **音楽之友社** TEL 03-3235-2151 FAX 03-3235-2148  
<http://www.ongakunotomo.co.jp/>

日本人の心底を貫く神道文化に、音楽面から光を当てた、神道音楽の基本資料となる貴重な音源。一九七六年(昭和五十一年)第三十一回文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞作品をCD完全復刻。

神道音楽を以下の三系統に分け、代表的なものを集成。

- 1 神社神道の祝詞、祭祀音楽(宮中祭祀を含む)  
神社神道の祭式・大詠詞・十種詠詞(御神楽(みかぐら)・幣・阿知女作法・あかがり・其駒)「東遊」音出/於振/二歌/駿河歌
- 2 教派神道系の祭典楽  
「黒住教の祭典楽」春・管掻/進饗/玉串/神誠奉読/撒饗/明石の浦/湊川「金光教の祭典楽」中正楽第五/天の戸/中正楽第四/奉幣/音取第四/中正楽第二十/富士の峰「大本の祭典楽」管掻曲/今様/春の調/五十鈴川/天の敷歌/大和御歌の舞
- 3 民俗芸能における祭祀音楽  
「神楽系」巫女神楽/佐陀神楽/有福神楽/花祭(「田楽系」御田植歌/田植歌/那智田楽/びんざらの舞/比擬開口「祭礼系」風流系)登山囃子/下山囃子/虎舞の囃子/七福神の囃子/葛西囃子/神田囃子/船のお波りの囃子/やすらい唱歌/龍踊りの囃子/傘鉦の囃子/シャギリ/綱引き歌

吉川英史、藤本壽一、高澤信一郎、倉林正次、蒲生郷昭、蒲生美津子、西角井正大、小野祖教、梅原猛など斯界最高執筆陣の解説は、現在に至るまで唯一の神道音楽概説書として高い価値を保つ。

神道音楽を体系的に集めた唯一の音源集。

Music of Shinto

神々の音楽

神道音楽集成

監修 吉川英史 構成 藤本壽一

2013年4月24日発売

4CD VZZG-2 (CD4枚+全228頁別冊解説書)  
定価 17,143円+税  
(原盤提供株式会社EMIミュージック・ジャパン)

発売元: 公益財団法人日本伝統文化振興財団

販売元: 株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

(問) 〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会新館2階 TEL:03-3222-4155/FAX:03-3222-1118 <http://www.japo-net.or.jp>